

飯伊 産業経済動向

No.517 2022/4
(4.5.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http://www.iidashinkin.co.jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標	実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	1,861枚	△ 24.1%	△ 24.3%	△ 31.4%	△ 38.5%
	金額	2,756,609千円	△ 28.4%	△ 19.1%	△ 32.0%	△ 27.2%
うち不渡発生状況	枚数	0枚	(前月 0枚)	(前年同月 0枚)	(前々年同月 0枚)	(令和元年同月 5枚)
	金額	0千円	(前月 0千円)	(前年同月 0千円)	(前々年同月 0千円)	(令和元年同月 794千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上) (3月)	県内	7件	(前月 3件)	(前年同月 11件)	(前々年同月 3件)	(令和元年同月 8件)
	飯伊	1件	(前月 0件)	(前年同月 1件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(3月)	38戸	△ 7.3%	△ 19.1%	△ 13.6%	△ 19.1%	
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(3月)	1.38倍	(前月 1.45倍)	(前年同月 1.23倍)	(前々年同月 1.29倍)	(令和元年同月 1.31倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,642台	△ 45.2%	△ 13.2%	3.5%	△ 28.3%
	中古車	750台	△ 15.4%	△ 10.1%	△ 6.9%	△ 14.9%
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会) (3月)	新車	4,811台	30.4%	△ 23.8%	△ 20.7%	△ 22.6%
	中古車	1,153台	41.1%	△ 7.7%	5.9%	2.3%
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	87,815台	△ 2.9%	5.4%	28.8%	△ 21.8%
	出	88,482台	△ 3.1%	7.7%	30.1%	△ 22.4%
中央道利用台数 (松川インター分)	入	53,063台	△ 2.2%	6.1%	11.1%	△ 29.2%
	出	51,198台	△ 1.3%	6.9%	10.3%	△ 28.7%
中央道利用台数 (園原インター分)	入	18,716台	66.8%	0.8%	94.5%	△ 11.0%
	出	22,733台	99.7%	2.7%	127.5%	△ 6.1%
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	44,562台	14.9%	17.1%	74.9%	0.6%
	出	46,484台	21.5%	16.5%	79.0%	3.4%
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	32,976台	2.1%	33.8%	-%	-%
	出	32,201台	1.1%	21.0%	-%	-%
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)	88件	△ 43.9%	35.4%	△ 66.0%	△ 31.8%	
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)	2件	(前月 3件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 1件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	10,825人	0.0%	90.1%	688.4%	△ 59.1%
	飯田～名古屋	9,106人	0.4%	62.4%	336.3%	△ 51.2%
	飯田～長野	3,375人	7.8%	3.4%	59.0%	△ 64.0%
	伊那・駒ヶ根～新宿	8,485人	7.9%	156.1%	476.4%	△ 61.1%
市内循環バス乗車人数	左回り	2,565人	△ 16.3%	△ 3.5%	29.3%	△ 22.7%
	右回り	2,524人	△ 15.2%	△ 5.3%	28.1%	△ 24.5%

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIはマイナス9.1。売上の前年比は増加との声は少ないものの、資材価格の高騰や調達への懸念も多く聞かれる。

当月の製造業の業況判断指数（DI）はマイナス9.1で、前月から17.8ポイント下降。売上の前年比は増加との声は少ないが、資材価格の高騰や調達の困難などで、客先の発注が減少しているとの声もあり、先行きの不透明感を指摘する声も聞かれた。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 受注、販売とも、横ばい～やや増加。減少との声は聞かれない。
とはいえ景況感の好転には至らず、中国のロックダウンを含めた世界情勢、半導体不足、原材料高など先行きの不透明感も依然強い。

- ☑在庫……多くの業者で、例年より多いという。

[企業からのコメント]

- ・「原材料単価は上昇しているが売価に簡単に反映できず、当面製品単価は変動しない」「円安、半導体価格上昇に伴い、客先に製品価格アップの検討を依頼した。各社の最終回答はまだだが、了承いただけそうな感がある」
- ・全般に需要はあるが、材料不足で客先が生産を抑制している。
- ・新型コロナ禍の世界経済への影響が長期的に懸念されているが、景況は少しずつ回復してきている。しかしここに来て、半導体不足、価格上昇、原油高、ウクライナ情勢、中国のロックダウンなど、この先の状況は更に不透明になってきている。

●半導体、液晶製造装置向け機械部品

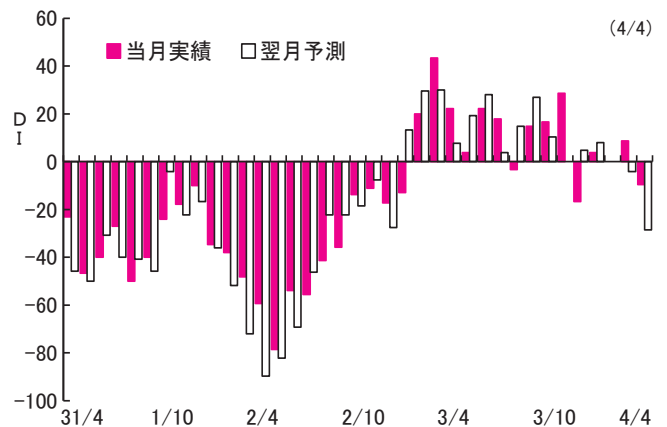
- ☑受注、販売… 受注残高、販売額とも、一部に減少との声もあるが、こうした業者でも景況感の悪化には至っていない。先行き受注の減少を見込む声も。

- ☑原材料価格… 各種部材の調達難が続いていることに加え、価格も上昇基調にあるとの声が多い。ウクライナ情勢の影響を指摘する声も。

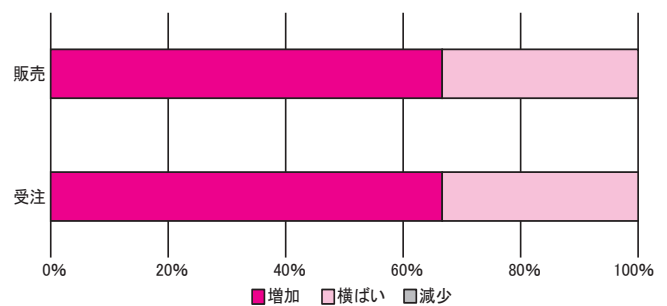
[企業からのコメント]

- ・「主要顧客が、安定調達のため長納期品を中心に早めに発注しており、受注残高が大きくなっている」「主要顧客の期初で、月末になって絞られた注文が入り良好な結果」「米国の原油需要の高まりで、顧客の原油関連の仕事増加が回ってきている製品もある」「客先には、欧米の引き合いが増加している先や、開発力、生産力を上げるため大規模投資を行った先もある」「次月は稼働日の関係もあるが、メイン先の先行きが不透明で減少傾向を予測している」
- ・「当月、来月は生産調整局面だが、その後は回復する見込みで、納期対応のため在庫増加」「当月まとまった受注に応じたため在庫減少も、今後は出荷を見込んで随時在庫を積み上げる」「AI、メタバースの拡大と世界の人口増加が相まって、半導体を多用する人口が増加するとの予測がある。特に汎用半導体の製造装置では今後も需要増加が見込まれる」
- ・「すべての原材料が高騰又は枯渇し、厳しい調達状況。調達先変更に伴う設計変更や生産の国内回帰等はすぐに対応できないし、上海のロックダウンの影響もある。需要自体は好調を維持している中、安定供給は課題」「毎月値上げの連絡がある。今後も上昇基調は続くだろう」「原材料高は注視」

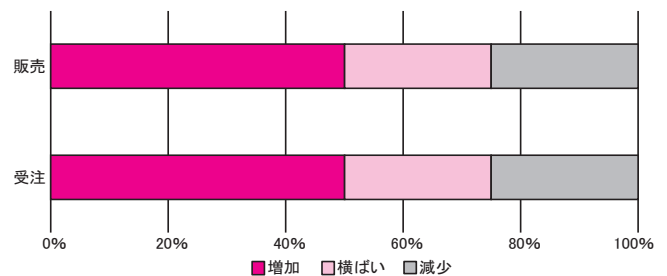
飯伊地区景況DI（製造業）



電気・精密・光学向け部品前月比回答割合

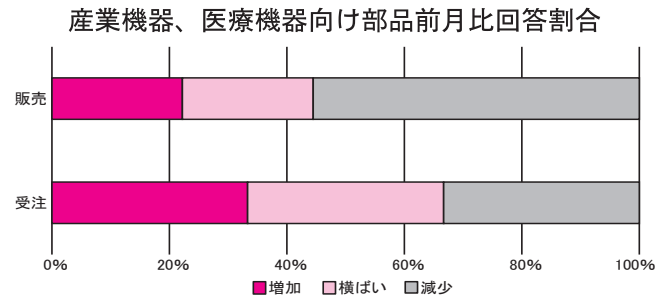


半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 受注の前月比は、増減分かれる。販売の前月比は、減少との声が多い。
- ☑景況感……… 景況感が悪化した業者が複数見られたほか、先行き弱含んでいるとの声が複数聞かれた。



[企業からのコメント]

- ・「ロボット関連、半導体、医療機器など順調。製品によっては売価が上がったものもある」「特定の製品が動いており、次の出図もあった」「下降位置で停滞」「仕事量が二極化しているとの声も聞かれる」
- ・「素材によって価格に様々な動きがある。ものによっては倍近く上がっているものもあり、入手困難のため高い部材を購入するケースもある」「アルミ、鋼材の値上がりは5割以上。副資材も値上がりで厳しい」「アルミインゴットは7月頃一段の上昇」
- ・「素材上昇分を納品単価に転嫁するよう、常に交渉。客先は前向きな対応」「素材上昇分転嫁」「素材の値上がりに備え先行手配したため在庫が増えている」

●漬物、半生菓子、菓子原料等

- ☑売 上………前月比横ばい～やや増加。前年比はやや減少との声。
- ☑原材料価格…上昇傾向を伝える声が多数。

[企業からのコメント]

- ・コロナ前には及ばないものの、飲食店向けの商材に動きが出てきたように思う。輸出用商材にも動きが出てきた感があるが、市販用商材の動きは鈍い。
- ・「副材料値上がり。水あめでも値上げの通知があった」「4月に入っても仕入品の値上げ案内が続く。今後ウクライナ情勢を織り込んだ第2弾の値上げがある可能性もあり、さらなる原価の上昇が懸念されるが、当業界では価格改定の機運が感じられない」「ガス、アメリカ餅粉、油など上昇。値上げに動きたい」

●水引、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売 上………前月比は横ばいとの声。
- ☑原材料価格…上昇との声が多い。

[企業からのコメント]

- ・今の状態では、特に仏、祝儀用品の新しい商品の販売が難しい。その上材料全般が値上がり。続けていくための方策を考える必要もありそう。

●上記以外の製造業

- ☑建築用金属製品…販売は、前月比、前年比とも増加も「引き続き低調。本来の状況ではない」という。
- ☑自動車向け部品…販売は、前月比、前年比ともやや減少も、景況感の悪化には至らないとの声。
- ☑印 刷………販売は、季節要因もあり前月比やや減少。印刷用紙を始め各種資材の値上がりを伝える声。
- ☑服 飾………受注残高、販売とも前年比増加。雇用面で不足感を指摘する声。

[企業からのコメント]

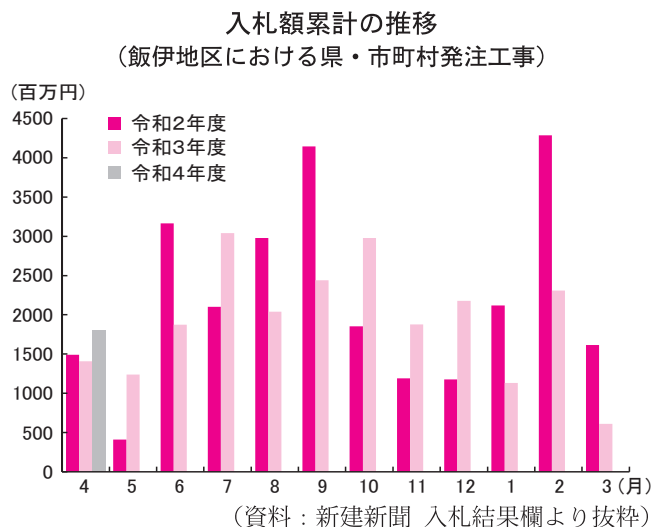
- ・客先や同業の情報では、虎ノ門、品川界限の再開発事業の動きが、今年の冬頃から顕著になるという。
- ・チラシの新聞折り込み代が値上げ。客先の数量や回数を減少させる動きにつながってしまう。
- ・前月は年度末で、当月の売上は当然落ちるが、大物の印刷物が少ない。少しずつイベントの仕事も出始めたとはいえ、今まで通りの仕事には及ばない。お練り祭りがあったが、続いて各種イベントや花火大会などが実施されることを期待したい。
- ・中国の大連、上海地区でのロックダウンで海外からの輸入が止まり、大幅な納期遅れが発生。また、国内生産に回帰してきているが、海外からの実習生も中々入ってこれず、生産量を確保できない。服飾の消費は戻ってきているが供給に間に合わない状況。
- ・服飾の仕事は溢れてきており、同業者同士でワークシェアを試みているが、中々加工単価が戻ってこず、受けるに受けられない状況。

建設業

官公需

概況 年度替わりもあり受注残高の前月比は減少との声が多い。資材値上がりが早期に設計単価に反映することを期待する声も

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約18.1億円（5月15日調査時点）。前年に比べ28.3%増加している。
- ☑受注残高…………… 年度替わりもあり、前月比減少との声が多数。完工高は業者により分かれるが、前月比横ばい～やや増加との声が多い。新規発注があるまで、当面受注残高の少ない状態が続くとの声が多い。
- ☑景況感…………… 概ね横ばいとの声が多く、先行きについても大きな変化は見込まれていない様子。
- ☑原材料価格…………… 各種資材の値上がりを指定する声は多い。



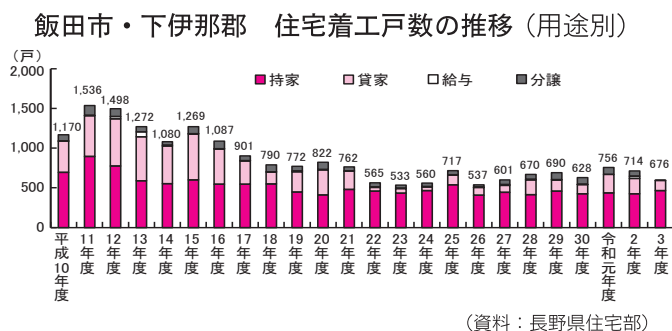
[企業からのコメント]

- ・「年度替わりの端境期で、少し仕事も落ち着いてきたのでは。年度末の人手不足も、目下は解消されている」「新年度発注待ちの状況。新年度発注に期待」「発注状況が悪く、受注が進んでいない」「受注残高は前年比増加」「仕事の薄いこの時期は受注競争が激しい」
- ・「各種資材の値上げが継続。設計単価の変更や納期対応に対処してほしい」「燃料、資材単価上昇」

民需

概況 令和3年度の飯伊地区の住宅着工戸数は676戸

- ☑住宅着工戸数… 当地区の3月の住宅着工戸数は38戸。前月比7%減少、前年比も19%減少。令和3年度の当地区の住宅着工戸数は676戸で、前年度に比べ5%減少。持家は9%、分譲は23%前年度に比べ増加していたが、貸家が32%減少した。
- ☑原材料価格…………… 上昇との声は多く、その影響で景況感が悪化した業者も少なくない。



[企業からのコメント]

- ・リニア関連など工事はボツボツ出ている。関わった物件の中には価格競争で手を引いたところもある。物価が上がっていてやりにくい。赤字では仕事は受けられない。
- ・資材高騰で着工戸数や設備投資が減っている。
- ・資材はここ1年で3割方上がっているが、現実の価格に反映できない。

建設資材等

概況 4月の生コン、骨材の売上は、年度始めもあり前月比減少。前年比では増加。資材高騰の影響を懸念する声も。

- ☑生コン…売上は前月比減少も、前年比は増加。
- ☑骨材…生コンと同じく、売上は前月比減少も、前年比は増加との声。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、トンネル工事、道路工事、治山工事、保育園・工場建築工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の13%弱。
- ・4月から生コン材料が値上がりしたが、年内にまた上がりそう。生コン単価が設計単価に反映されるまでどのくらい時間がかかるか心配。

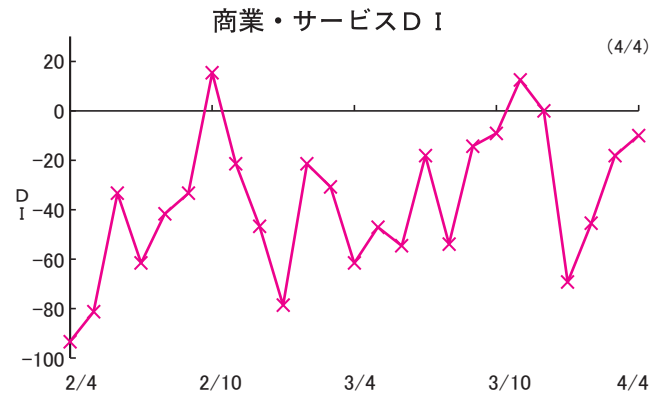
商業・サービス業

概況 コロナ禍の影響に一服感。仕入の全般的な値上がり、中でも光熱費、燃料費の増加を指摘する声は多い。

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）は、マイナス10.0で、前月から8.2ポイント上昇。

中旬以降のコロナ感染者の増加が影響したとの声は多いが、大型連休中まん延防止等重点措置が発令されない見込みとなり、宿泊関連業を中心に観光客増加を期待する声が寄せられた。

仕入の全般的な値上がり、中でも光熱費、燃料費の増加の影響を指摘する声は多い。こうした中、再生可能エネルギーへの関心が再び高まっているとの声が寄せられた。



主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比やや減少との声もあるが、景況感に動きは見られない。

☑売上…前月比は、業者により増減分かれるが、やや減少との声が多い。前年比はやや増加との声も複数。

☑販売単価…食品などを中心に、仕入の上昇を販売価格に転嫁できていないとの声も複数。

[企業からのコメント]

- ・「食品部門が良くない」「宅配業務をスタートさせた」「現状では、特に大きな変化はないが、仕入価格の上昇が消費に与える影響を心配」
- ・「コロナに関して、消費者は、自粛疲れか警戒感が薄れてきている」「仕入業者に大幅なリストラや営業時短があり、商品不足、発送ミスが発生している」

●卸売業 概況 景況感は概ね横ばいも、連休にまん延防止等重点措置が発令されない見込みとなったことを歓迎する声や、仕入価格の上昇を懸念する声。

☑売上…前月比、前年比とも、商材により増減分かれる。

[企業からのコメント]

- ・昨年入荷が多く安値だった野菜は、一昨年並みの売上に回復。北海道の玉葱は、不作により経験したことない高値で、しばらく続きそう。果実は、いちごは入荷減の価格高、スイカは入荷、価格とも順調。こうした中、輸入果実の流通悪化が続いており、注文に応じきれず販売に苦勞。コロナ禍にあるとはいえ、連休にまん延防止等重点措置が発令されない見込みで観光客増加が期待できるなど、販売に明るい見通しが始まったようにも感じる。
- ・4月から仕入商品が全般的に値上がり。販売価格についてもサプライチェーン全体のこと顧客は理解を示してくれるが、燃料など経費の増加は直接的な影響が大きい。先が見通せず大きな不安材料。半面再エネが再注目されており、商機が見込める部分もある。顧客の設備投資候補として「太陽光」「蓄電池」が挙がるようになってきており、市場の動きを捉えたい。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 前月に引き続き、コロナ禍の影響は継続も、宿泊業では景況感がやや好転との声も聞かれた。

☑売上…前年比増加との声が多いが、令和元年の水準に及ばない、協力金等も含んでいるといったことから、一概に増加とは言えないとの声も。

[企業からのコメント]

- ・お練り祭りによる需要はあまりなかった。その後の感染拡大で宴会、法事などキャンセルが相次いだ。何回も繰り返されたことで、ある意味慣れてもきた。連休明けの予約は、コロナ禍の様子見もあり、今のところあまりない。だが、経験上、感染者数が落ち着いていけば予約は入る。楽観はしていないが、過度に悲観もしていない。
- ・上旬はまあまあだったが、市内の感染者数が急増した中旬以降は売上減少。一方、電気、ガス、水道から材料費などもすべて値上がり。コロナ禍で売上が減少している中、影響は大きい。
- ・前半、年度初めで宿泊客の動きは鈍かったが、後半ビジネス客が動き始めた。ゴールデンウィークの予約は、直近まで様子見の感があったが、コロナ禍以降で初めて大きな動きを感じた。光熱費を中心に経費の増加が続いている。いつまで続くのか新たな課題。
- ・週末、観光客は動き始めてきた。だが、桜の開花が早く、花桃も4月中に咲き終わり、加えて週末ごと生憎の天気でお客様には巡り合わせが悪かった。様々な点で、連休後にコロナ感染者数がどれくらい抑えられるか注視している。
- ・飲食店の休業、時短要請は終わったが、夜のタクシー需要はなかなか戻ってこない。当地域の感染者数が収まらないこともあって、お客様の行動が元に戻らない感。コロナ禍も2年に及び、その間様々な改善を行ってきたが、一番重要な人材が他産業に流出し、従業員の平均年齢上昇につながっている。業界全体で新規入職者の増加等方策を検討し、それに向けた協力を考えることも重要ではないか。

－ 2022年4月の新卒者採用に関するアンケート調査結果 －

しんきん南信州地域研究所では、当地域の事業者様の本年4月における高校、大学、専門学校等の新卒者の採用に関する意識や、来年の新卒者採用、今後の中途採用に関するアンケートを実施しました。この中では、今後の採用方針に関する新型コロナ、原油・原材料高等による影響についても伺っています。今回はその結果をご紹介します。

ご多忙の中ご回答いただいた皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

1. アンケート調査結果

I アンケート概要：

- ・本誌調査先企業にアンケート用紙を配布し、郵送若しくはメールで回収。
- ・回答総数 43（製造業23、建設業8、卸・小売、飲食、宿泊業、運輸業などを含む商業・サービス業 12）
- ・調査期間 令和4年4月5日～令和4年4月25日

II アンケートの結果：

●本年度新卒者の採用に関する認識

今年度の高校・大学・専門学校等の新卒者の採用について、「予定通り採用できた」「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」、「もともと採用予定はなく、採用しなかった」の内から一つ選択してもらった。

この中で、採用予定のなかった事業者は、全体では28者、67%となっており、2020年4月の同調査と比較して8ポイント増加した。長引くコロナ禍の影響などにより、採用計画そのものがない事業者が増えている可能性を感じさせる結果となった。

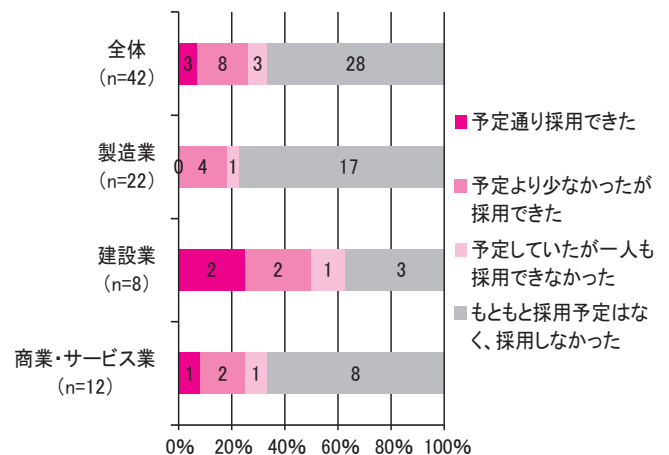
業種別に「予定通り採用できた」「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」など新卒者の採用に積極的だった回答割合を見ると、建設業が63%と最も高く、本調査による限り、他産業に比べ新卒者の採用意欲は高かったといえるのではないかと。

今年度の新卒者の採用予定があった14者中、「予定通り採用できた」とする事業者は全体で3者、21%にとどまっており、約8割の事業者が「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」と回答した。飯田管内の有効求人倍率は、令和2年8月以降1.00以上で推移し人手不足が続いている状況だが、今回の調査からも採用が予定通りにできていない様子が垣間見える結果となった。

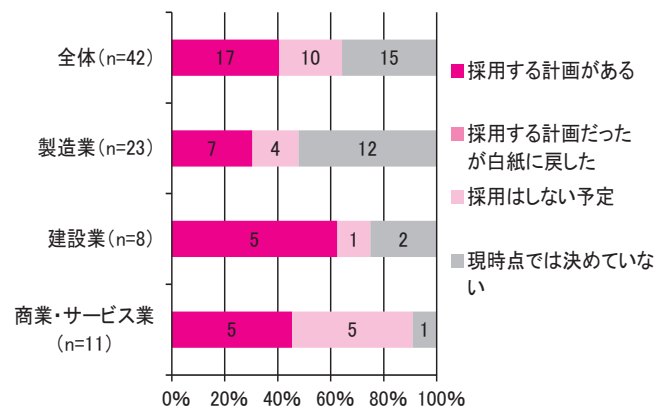
●来年度の新卒者採用の予定とコロナ、原油・原材料高騰、ウクライナ情勢悪化が与える影響

本調査では、来年の新卒者の採用についても、「採用する計画がある」「採用する計画だったが、白紙に戻した」「採用はしない予定」「現時点では決めていない」の内から一つ選

今年（2022年4月）の、高卒・大学新卒者は、予定通り採用できましたか？



来年、高卒・大卒の採用予定はありますか？



扱ってもらっている。

この中で、「採用する計画がある」とする業者は17者、41%となっている。建設業で採用計画がある事業者は5者、63%に上り、ここでも建設業の新卒者の採用意欲が高い様子が窺える。

また、今年度の新卒者の採用について、「予定通り採用できた」「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」など採用予定があった14者は、全事業者が来年度も採用を計画しており、新卒者の採用について積極的な意向が感じられる。

ところで、来年度の新卒者の採用を「採用する計画がある」あるいは「現時点では決めていない」とした32者について、来年の新卒採用に影響を与える要因について尋ねたところ、「新型コロナによる影響」が22%、「原油・原材料高騰による影響」が19%、「ウクライナ情勢悪化による影響」が6%となった。ただ、「影響はない」との回答が半数を占めていることから、コロナ等の影響に関わらず採用を進めたいとの意向が見てとれる。

● 中途採用、外国人採用とコロナ、原油・原材料高騰、ウクライナ情勢悪化が与える影響

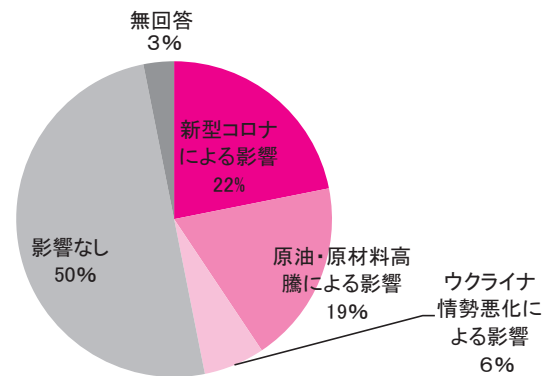
また、本調査では、中途採用や外国人採用について、今後半年程度の予定も聞いている。

この中で、「従来どおりの人数を募集し続ける予定」「予定より減らして募集し続ける予定」など、中途採用、外国人採用に積極的な回答は、全体で46%、製造業では半数を超え、建設業、商業・サービス業でも4割程度あった。事業者からは、「中途採用での即戦力採用が多く、最近では職業訓練校を修了した第2新卒の採用もある」「中途採用を募集中」「日本語学校を卒業したネパール出身女性を採用した」といったコメントが寄せられた。

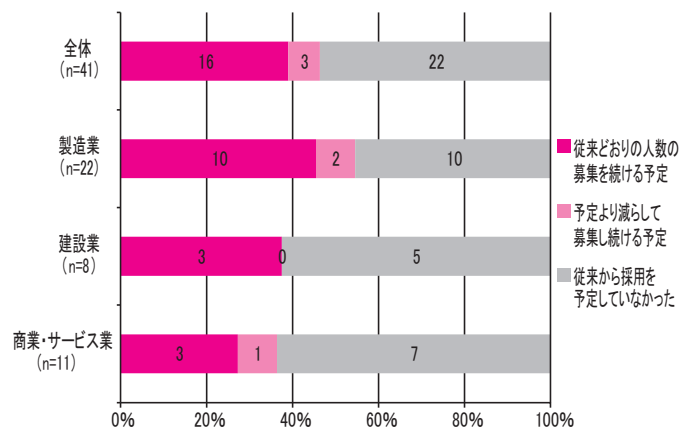
前述の新卒採用のグラフと比較すると、製造業では新卒採用よりも外国人、中途採用を重視しており、建設業では新卒採用を重視しているように見える。商業・サービス業では新卒採用と外国人、中途採用で大きな差はないが、採用予定のない事業者からは「客入りの回復が見込めず、採用の予定は全くない」というコメントも寄せられた。

今後半年程度の中途採用や外国人採用について、「従来どおりの人数を募集し続ける予定」「予定より減らして募集し続ける予定」など、中途採用、外国人採用に積極的な回答をした19者について、今後の中途採用、外国人採用にコロナの影響がありそうか尋ねたところ、「影響はない」との回答が最も多い。新卒採用と比較して「新型コロナによる影響」と回答する割合が高く、事業者からは「外国人が母国に帰省する場合、PCR検査や隔離日数の問題があり、運賃の値上がりによる費用増加も」との声が寄せられた。

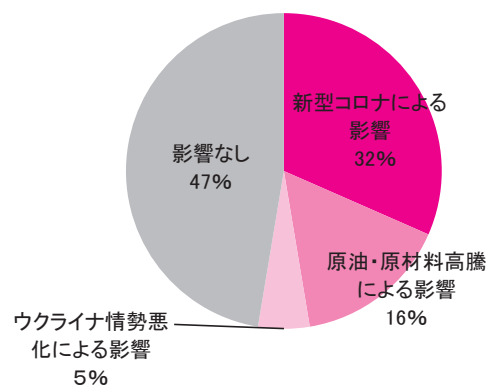
来年の新卒採用に、最も影響を与える要因は？ (n=32)



外国人採用、中途採用について、今後概ね半年の予定を教えてください



今後概ね半年程度の中途採用・外国人採用に、最も影響を与える要因は？ (n=19)



三遠南信道 水窪佐久間道路の事業が前進 ～ 予定地を見に、静岡県道290号に行く～

三遠南信自動車道で最後の未事業化区間であった水窪佐久間道路（水窪IC（仮称）～佐久間河合IC）は、平成31年4月に事業化。この5月15日に中心くい打ち式が挙行された（南信州新聞）。

当南信州地域にも良いニュースとあって早速、三遠南信道 水窪佐久間道路の予定地を訪問した。



県道290号の佐久間町国道473号との分岐点
左 県道290号、右 473号・152号経由で水窪へ

1. 佐久間と水窪を直線で結ぶ県道290号沿い溪谷

三遠南信自動車道水窪佐久間道路は、浜松市天竜区の佐久間町と同水窪町をほぼ直線で結ぶ。現在、両町間の移動は通常国道152号と473号によるため、大きく迂回する形となって所要時間は1時間弱を要する。三遠南信道は、この静岡県道290号水窪^{みさくぼ}羽ヶ庄^{がしゅうさくま}佐久間線とほぼ並行して両町間を最短で繋げることで所要時間短縮と災害等による通行止め多発の現状からの強靱化を実現する。

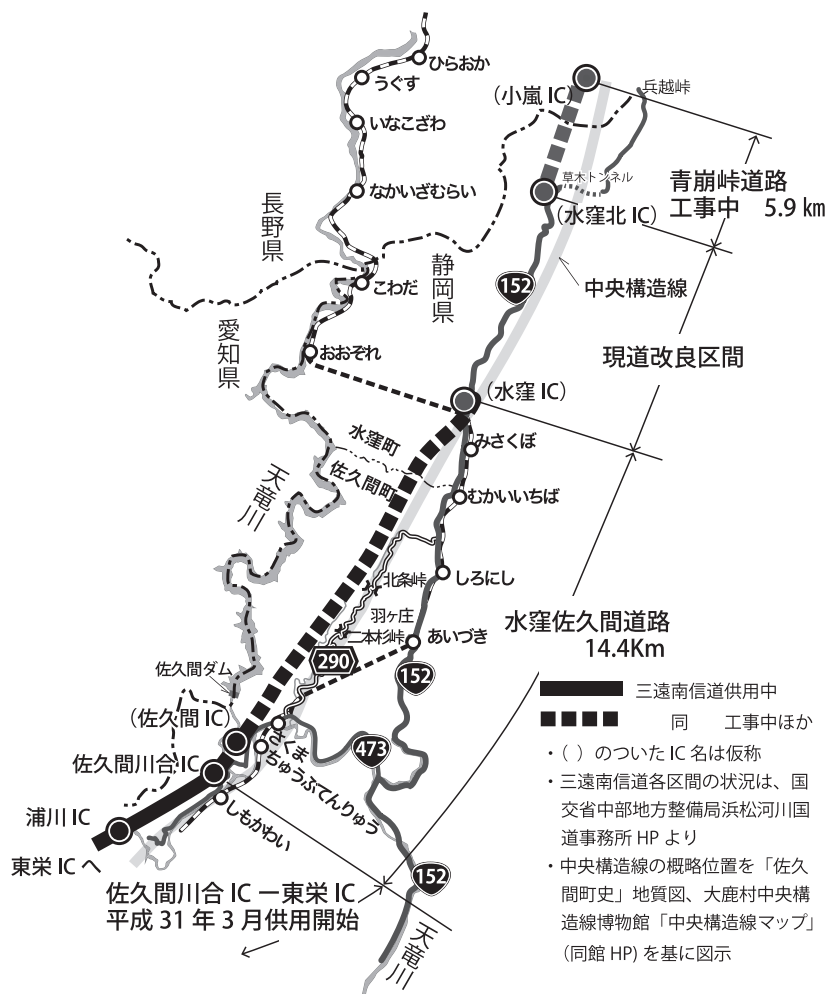
スタートは佐久間側から。JR佐久間駅前から国道473号を浜松市中心部方面へ行くとまもなく県道290号との分岐点に差し掛かる。進路を左にとりJR飯田線の踏切を渡ると、ここから杉檜の鬱蒼とした木立の中を標高を稼ぐ急こう配を上る。丁度南信濃の国道152号から分かれ下栗の里に向かう感じに似ていて、路面は良好ながら対向車が来たときはすれ違いが厳しいところが多い。

二本杉峠の辺りまで来ると森林が切れ、先程通った佐久間の市街地を望むことができる。県道の反対側は、中央構造線に起因して浸食された谷を挟んで対岸に山が聳え、その山々の向こう側に天竜川が流れる位置関係にある。

2. 日本最大の断層の地層にここの地名が

そのまま進むと、もう一つの北条峠に着く。この県道は中央構造線のほぼ真上を走り、峠には中央構造線に関係した表示が見られる。説明書きによると、中央

三遠南信自動車道 水窪佐久間道路概略図



静岡県道290号 北条峠

構造線の破砕帯活動でできた粘土や黒色片岩の露頭があるという。

中央構造線は日本の地質を二分し、これを境に日本海側を内帯、太平洋側を外帯とする。内帯には中央構造線に接して花崗岩を主とした「領家帯（領家変成帯）」という地層が広がるが、「領家」はここ佐久間町から水窪町にかけての地名「領家（奥領家）」に由来する。

その昔、佐久間・水窪一帯は「山香荘」という後白河法皇が御所内に設けた長講堂（法華長講弥陀三昧堂）の荘園であった。その後武士が台頭、鎌倉幕府は承久の乱を契機として山香荘に地頭を配置する。地頭が荘園内の支配を強めると荘園領主との争いが起き、その解決として荘園と地頭の支配地を取り決めた（下地中分）。それにより前者が「領家」、後者が「地頭方」となり、その名称が現在まで北遠地域に地名として残る。領家地名が内帯側に在ったことから、内帯の代表的な地質にこの「領家」が付された。下地中分の際、領家と地頭方の境が北条峠と定められ、ここに「傍示」つまり境を示す標識を設置したことから「ホウジ峠」と呼ばれ、その後「北条峠」に転化した（「佐久間町史」）。



北条峠 中央構造線の活動による破砕帯の粘土（上）と黒色片岩（右）の露頭



町内に残る歴史地名

3. 開通までにはどれくらいの年月が

前頁概略図では、中央構造線の概略の位置を図示しているが、お分かりのように三遠南信道はこの内帯側にルートが取られている。青崩トンネルは当初、草木トンネルを経由し兵越峠側にトンネルを通すよう計画したものの、地質調査の結果これを断念し、現在掘り進むルートとなった。中央構造線の破砕帯により難工事となるが、よりましな内帯=領家帯の側にルートを取っていると考えられる。

中部地方整備局浜松河川国道事務所の資料によると、水窪佐久間道路は延長14.4kmで9つのトンネルと10の橋梁で殆どを占める。事業費は約900億円を予定。これまで述べた難しい地質に加え、厳しい地形条件の下で工事を進めることになる。工事の安全と一日も早い開通を祈念したい。

水窪、佐久間方面へ出かける際、兵越峠越えは難儀ではあるが、水窪・佐久間間の通行も結構なストレスになる。直線で結べば早いのに、と思ったものであったが、水窪佐久間道路の開通により、その頃には青崩峠道路も通行可能となっているであろうことから、南信州地域と北遠地域との交流は格段に便利になるだろう。

今回訪れた静岡県道290号沿いは、中央構造線による断層地形が当地域の大鹿村を思い起こさせ、歴史（「鎌倉殿の13人」の世界）と地学（「ブラタモリ」同）に関係した事物が多くみられる一帯だった。

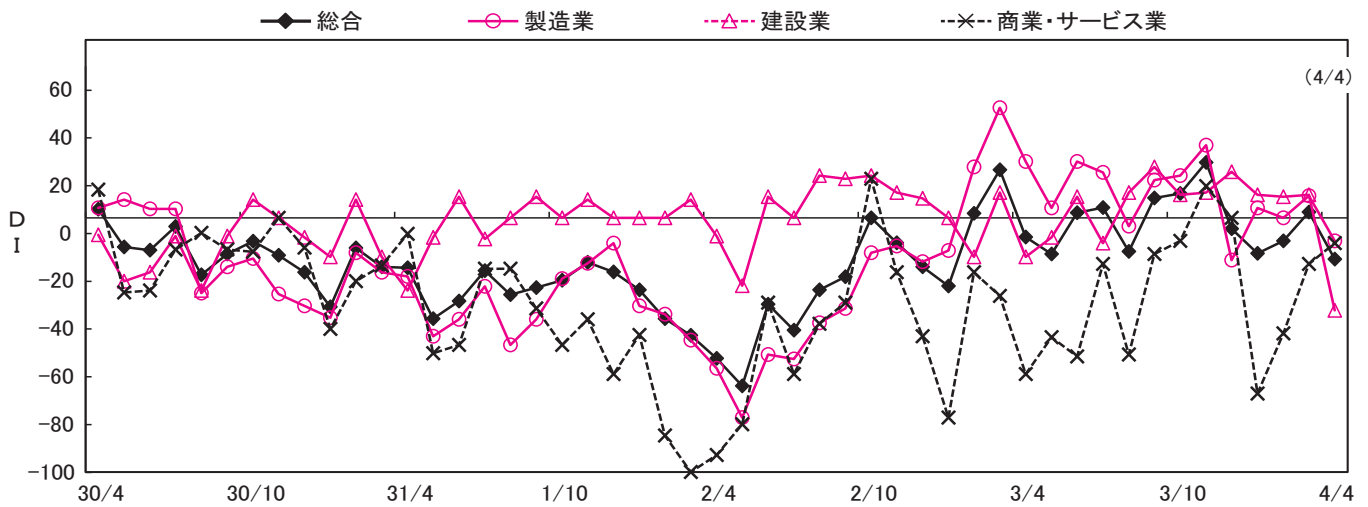


国土交通省中部地方整備局浜松河川工事事務所の資料を基に、三遠南信道の概略位置を表示（右手道路が県道290号）

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI（本誌調査）



統計調査から

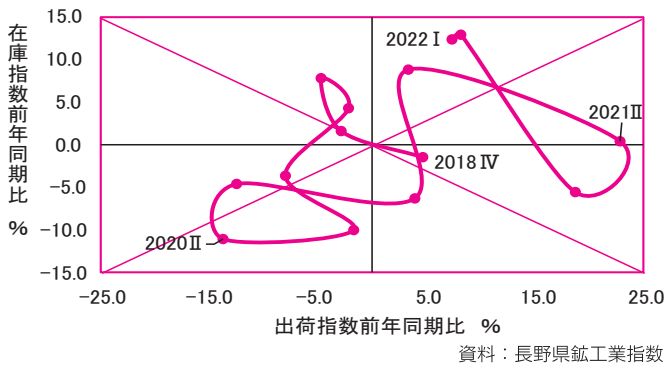
【長野県製造業の在庫循環図】

下図は長野県製造業の「在庫循環図」といわれるもの。

これによると、2021年第2四半期、第3四半期には出荷の増加に在庫の増加が追いついていなかったが、2020年第1四半期になると、出荷の増加率以上に在庫増加率が高くなっていることが判る。

本誌調査でも、資材価格の上昇や調達困難に備えて在庫の積み上げを図っているとの声が多く聞かれるが、長野県製造業の2022年第1四半期の結果が、こうした在庫の積み増しによるものなのかどうか、今後の推移が注目される。

長野県在庫循環図（2018第4四半期～2022第1四半期）



在庫循環図とは、縦軸に鉱工業指数の在庫指数の前年比を、横軸に同生産指数の前年比をプロットしたもの。在庫循環図では、①意図せざる在庫減局面（景気拡張期に入ると、需要の増加が企業予測を上回り、増産しても需要に追いつかず、一時的に在庫が減少する。）→②在庫積み増し局面（景気拡張期が長くなってくると、企業は将来の更なる需要増に備えて増産し、在庫を積極的に積み増そうとする。）→③在庫積み上がり局面（景気の山を越して後退期に入ると、需要が企業予測を下回り、需要の減少速度に減産が追いつかず、在庫が積み上がってしまう。）→④在庫調整局面（景気後退期が続くと、企業は更に減産を進め、積み上がった在庫を減らそうとする。）、という動きになる。

つまり、理想的には、在庫循環の進捗は、循環図上で反時計回りの動きとなって表れる。

